

事業所名

児童発達支援 寿ふくろうの家

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

6日

法人（事業所）理念	楽しくあそび 一緒にあそび 学び 認めて ほめる		
支援方針	言語・コミュニケーション・学習等どこでつまづいているのかを知り個別課題と小集団療育で「できた」に繋がる支援		
営業時間	10時	0分から	19時0分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	外気温に合わせた衣類を自分で調整したり健康に過ごすための基本が身に付くよう支援していく。またあいさつや片付け、身の回りを清潔にするなど生活スキルの向上を目指す。	
	運動・感覚	感覚に過敏がある子どもへはイヤーマフを使用するなど個々に合わせた環境を整える。プログラムの中に山登りやクッキング、手先を使った工作等様々なカリキュラムを取り入れ感覚機能の向上をはかる。	
	認知・行動	集団で話し合ったりゲームを課題を積極的に取り入れ状況に合った行動につながるよう進めていく。いろいろな場面に遭遇することで状況を理解しその場に合った行動がとれるように支援する。	
	言語 コミュニケーション	カードを使って名前、用途、場所のマッチングに取り組み語彙力を獲得していく。相手の意図を理解した会話体験(買い物体験等)でコミュニケーションスキルの向上をはかる。	
	人間関係 社会性	様々な活動体験で人の動きやことばを模倣したり他児と関わるボードゲーム等を通してソーシャルスキルを育てていく。感覚刺激を得られる遊びと合わせて周りと協調しながら楽しむ遊びを展開する。	
家族支援	保護者同士集まる座談会を開き悩みや情報共有をする。	移行支援	定期的な支援者会議を開き子どもや保護者のニーズや希望に合った進路を選択できるように相談・サポートをしている。
地域支援・地域連携	子どもが通う学校等と情報共有し連携を取っている。	職員の質の向上	専門家による外部研修の参加やZOOMを用いた社内研修を開き発達特性や支援方法等の専門性向上と日々の支援しつなげている。
主な行事等	季節に合わせた行事(プール遊び、ハロウィン、もちつき大会等)		